

今日の問題

日本海上の竹島をめぐる、日韓兩國の間で、また広瀬が行われている。さきに、日本巡視船が竹島に近づいたといつて抗議して来たので、わが外務省も二十五日、韓国代表

部に対して抗議を発し、竹島が

明らかに日本領土の一部であることを述べて、日本側の行動は正当だと主張した。

竹島については、すでに徳川時代に松島と呼ばれて日本の領土とされて来たが明治三十八年の二月廿二日付島根県告示第四十号をもって、正式に同県の所管に編入された。それ以来、第二次大戦にい

たるまで、日韓併合前の韓国からはひろんのこと、どの国からも、竹島の領有について異議を持ちこまれた事実はない。

ところが韓国側は、昭和二十七年、一方的に宣言したいわゆる「李ライン」の中に竹島をとり込んで、その領有を主張しはじめた。そして、なんら日本政府の

竹島 占領

了解なしに、韓国人漁民が上陸して、アワビ、

ワカメなどの採取に従事するという状態となった。

そればかりか、韓国側は、昔々と「既成事実」をつくりあげることによって、横車を押さうとしているようだ。昭和二十九年春には、同島から日本政府の領土標識を取り除いて、卓壁に「大韓民國國尚北道鬱陵島南面独島」(面は村の意、

独島は竹島の韓国名)と大文字を彫りこんで、鬱陵島の一部に編入したことにしている。同年には灯台を再建し、警備員の宿舎をつくり、以来、常時十五、六人が警備にあたっているといわれる。

さらに竹島の写真を入れた「竹島切手」を発行し、日本向けの郵便物には全部これを使用させるなど、手のこんだ宣伝まで試みている。

もともと竹島は漁場で、人は住んでいなかったのだが、こうして、無理やりにも、自国の領土だと主張するハラらしい。しかし、独立した韓国が、旧日本領土の一部まで、自国のものだと主張するのは、国際道念上からも、歴史的、法的事実からも受入れられるわけにはいかない。

横車もほどほどにしてみたい。